

輸出事業計画

※申請者名：エスエスケイフーズ株式会社 品目：調味料（ドレッシング・マヨネーズ）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 弊社は海外の外食向けを中心にドレッシング・マヨネーズの輸出を徐々に伸ばしてきた。一方、日本国内においては少子高齢化・コロナ禍によるインバウンド需要減・国内各社との競合等により国内販売価格の低迷、国内市場が縮小することが予測されている。
- そこで日本食注目度の高まりによって需要拡大が見込まれる海外への輸出を更に伸ばしていく方針を2020年に掲げている。

【課題】

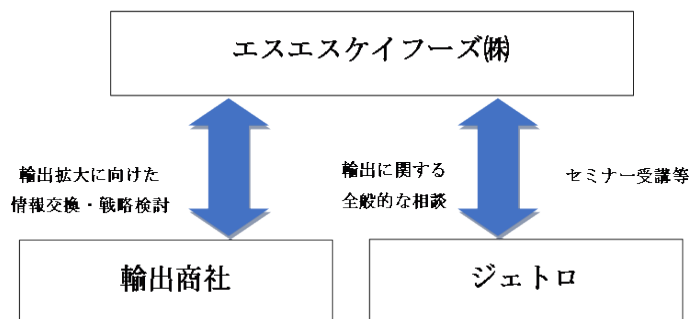
- 海外輸出を拡大するためには、製品コストを下げ、価格競争力を向上させることが急務となっている。
- 輸出商社に対応を一任しており、輸出専門部署を設置していないことから、輸出に関する迅速な対応が困難である。また、今後の販売拡大に向けては、現地の情報収集に長けている商社と連携し、ニーズに合った商品提案・OEM受託等を行うことが不可欠と認識している。

2. 輸出事業計画の取組内容

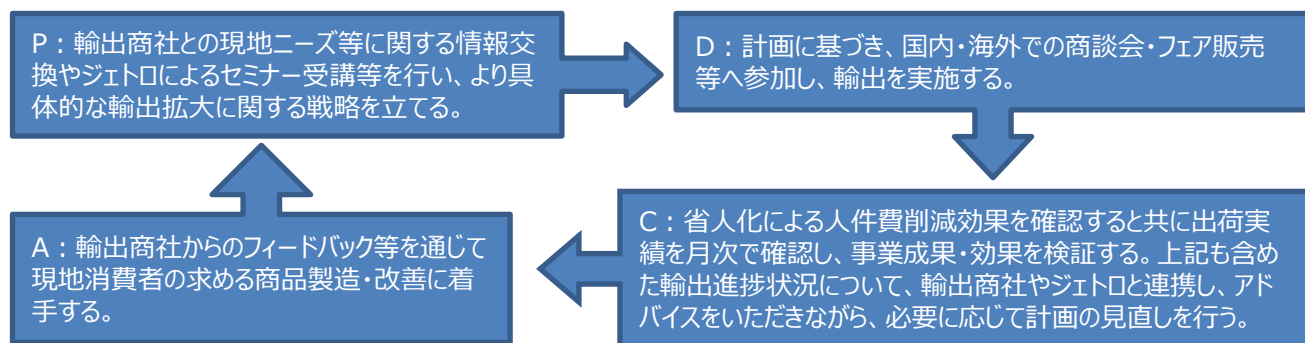
- 製造工程において、製函された空箱に製品を手入れしているところ、自動ケーサーを導入し、当該作業を自動ケーサーで行うことにより省人化を達成し、製品コストに反映させることで価格競争力を向上させる。
- 現在は商社を通した輸出を行っており、国別の特約商社等は設定していないが、今後は各国別に強いパイプを持つ特約商社を選び受託体制を強化し、輸出拡大を図る。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

【事業の連携体制図】



【PDCA実施体制】



輸出事業計画

※申請者名：エスエスケイフーズ株式会社 品目：調味料（ドレッシング・マヨネーズ）

4. 輸出目標額

	現状 (令和3年度)	目標年 (令和9年度)
輸出額(百万円)	327百万円	464百万円
輸出量 (t)	35,209t	42,496t
主な輸出先国	アメリカ合衆国、オーストラリア、 中華人民共和国、フィリピン、 ロシア	アメリカ合衆国、オーストラリア、 中華人民共和国、フィリピン、 ロシア